

お役立ち情報

結露がひどい！どうにかして

結露 ～結露の基本知識～



結露ってどう
やったら防げ
るの？



はり替えて間もないの
に壁紙がはがれてきた
！施工が悪かったの
かしら？

結露対策の工事を
したのに、結露が
前よりもひどく
なった！業者は無
くなると言ったの
に！



リフォームエピソード

『部屋の隅部分の床に近い所の壁紙がはがれてきている』

『シロアリ点検をしてほしい』

この2つのご相談の原因はどちらも結露の可能性があります。壁紙のはがれは直せば良いですが、白蟻は大きな被害になりかねません…
表面だけでなく内部にも害を与えるのが結露の怖さです。



結露の基本知識をろう！

結露は家にとって深刻な問題です。

部屋がツメツメする 窓に水滴が溜まる タンスの裏にカビを見つけた 壁紙がはがれてきた

このような「表面的な結露被害」のご相談は多くあります。しかし住人が結露に気づいた時には、家の内部にも結露被害が・・・

そもそも結露はなぜ起こる？

特に冬場は、室内は暖かく、外は冷たい。外壁や窓を境に寒暖の空気温度差ができますね。結露は、室内空気中の水分が、窓や外壁付近の冷たい空気に冷やされ水滴化したものです。

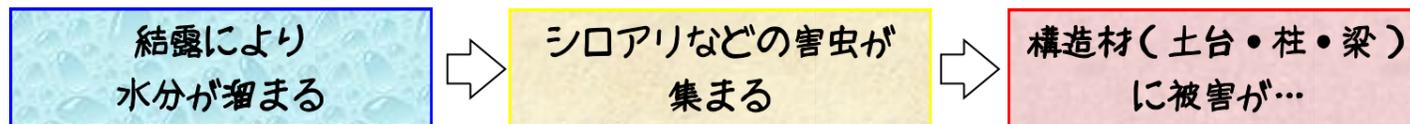
結露が起こるとどうなる？

①人への被害

室内に湿気が溜りカビやダニの発生を招きます。アレルギーやぜんそくの原因になりかねません。

②家への被害

目に見える部分だと、窓に水滴が溜まる、壁紙のはがれや黒ずみ（カビ）などが考えられます。そして目に見えない床下や壁内部でもシロアリや木材の腐食などの被害があり得ます。



結露対策 基本中の基本

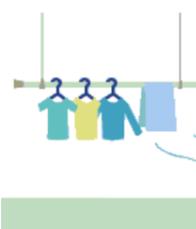
①換気 結露に対しては換気が1番！ 浴室やトイレなどには建築基準法で換気扇が取り付けられています。でも法律上の換気量だけでは結露は防げません。1日数時間でも窓を開けて空気の流れを作ることが1番の結露対策！

②ストーブ・ファンヒーター使用後は必ず換気

室内の空気が温まると結露しやすくなります。使用後は換気を忘れずに。熱の出にくい、電気ヒーターや台所のガスコンロをIHに変えるのもいいかも。

③室内干しは結露の元

洗濯物の水分で室内空気の水分量が増えてしまうと、結露の量も増えてしまいます。部屋干しするときは窓を開けるか、扇風機などで空気の流れを作って湿気が溜まらないようにしてくださいね。



お役立ち情報

結露がひどい！どうにかして

結露 ～結露の原因～



うちは結露しないけどどうして？

息子が建てた新築の家あったかいけど、なんか湿気が多いように感じます。



せっかくペアガラスにしたのに、また結露している！
施工ミスじゃないか？

※ペアガラス（複層ガラス）

2枚のガラスの間に空気層を挟み込んだ2重ガラス窓。防音・断熱に優れる。

リフォームエピソード

『ペアガラスに入れ替えたのに、窓に水滴が！』

『新築特有の臭いがなかなか取れない！』

新築や最新の商材をつかってリフォームしたお宅でこう言う話はたまに耳にします。原因は为什么呢？

施工ミス？ 欠陥商品？

結露問題には現代の住宅構造が関係しています。



結露の原因を知ろう！

結露は現代病！

昔の家では結露はさほど問題とされていませんでした。

なぜなら、『材木量・風通し』という結露対策ポイントを備えた家だったからです。

現代の住宅は、エアコンが良く効くように部屋は完全に仕切られ、隙間風なんてもちろん入りません、外壁自体も熱を伝えにくい材料を使っています、『高気密住宅』と呼ばれています。



うちはもう築40年以上だけど、結露は大丈夫？

おじいちゃんのお家は『木』が多く使われていますよね。木と言うのは人間と同じように呼吸します、湿気を吸ったり吐いたりして、室内の水蒸気量を勝手に調整しているんです。だから室内に湿気が溜まりにくく結露は起こりにくいですよ。



結露がひどいんです… ペアガラスにしようと思うんですが、本当に結露がなくなりますか？



御実家を思い出してください、隙間風がありませんでしたか？この隙間風は自然の風を取り入れた換気の役割を果たしています。

『すべての部屋に風が通る間取り』こんな家が必要です。

ペアガラスの様に熱を通しにくい硝子（高断熱）

アルミサッシの様に隙間風を通しにくい窓（高気密）

個室が多く風通しの悪い間取り

これらのせいで現代の家には湿気がこもりがちになります。

ペアガラスだからと言って安心できませんよ。

お役立ち情報

結露がひどい！どうにかして

結露 ～結露と断熱材～



リフォームする時に断熱材の事なんて考えてなかったわ！

家族が安心して暮らせる家造りには、見えない部分も大切なんですね。



業者さんが断熱材を入れると言ってたけど、断熱材ってなにかしら？

リフォームエピソード

わたし『リフォーム後、生活してみてどうですか？』

お客様『暮らしてみて、リビングと他の部屋の違いに気づきました！』

工事内容はリビング改装。お客様の言う“違い”とは、断熱材がしっかり入っているか、いないか、です。

壁紙や床などはリフォーム後、即、実感できます。でもリフォーム後生活してみて初めて実感できる部分もあります。それが断熱材です。断熱材が効いている部屋は何が違うのでしょうか？



断熱材を知ろう！

「断熱材って何？」という人も居るかもしれません。リフォームするなら知ってて当然！断熱材の基本中の基本のお話をしましょう♪



断熱材ってなんですか？

読んで字のごとく、「熱の移動を遮る」建材です。

冬は室内の暖かい熱を逃がさず、夏は外部の暑さを室内に伝えない！つまり、冬場の冷気を室内に伝えにくいので、室内の暖かい空気に冷気が触れてできる結露（水滴）の発生を予防します。



じゃあ、断熱材を入れれば結露がなくなるんですね？

いいえ、結露は起こる可能性があります、今より改善されると思いますが、

断熱材は正しい入れ方をしないと効果がありません！壁内の断熱材は隙間なく施工するのが条件なんです、隙間があると断熱効果が弱くなりそこから冷気が伝わり室内側の壁に結露が出来てしまいます。壁紙がはがれたりしますね。



壁の断熱を上げて（断熱材充填）、窓の断熱を上げて（ペアガラス）も、結露は起こりえます。

室内に湿気がある限り、結露の恐れはあります。常に空気の流れのある家が理想ですが、エアコンは聞かないでしょうね… 冬は寒い家になってしまいます。

今、結露対策として有効なのは、換気や除湿と言われています。

結露は、立地・方角にも関係します、万全の対策はなかなか難しいのが現実です。